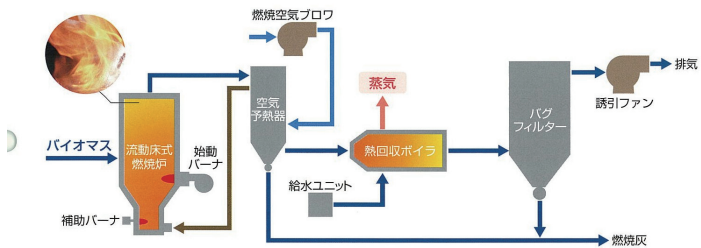


技術情報シート

1. 技術の名称	バイオマスの流動床式炉を用いた熱回収システム(バイオマスボイラシステム)
2. 技術の内容	バイオマスを熱エネルギーに変換し、蒸気、または温水として再利用できる。
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 流動する高温の珪砂を熱媒体とする流動床式燃焼炉を採用し、リサイクル利用が難しい高水分、泥状物などのバイオマスでも安定した燃焼を行うことができ、効率よく熱エネルギーに変換し廃熱ボイラーと組み合わせることで蒸気、温水が利用できます。 【技術の特長】 高温下で安定した流動を形成するため、炉内に珪砂を充填し、下層より流動化空気を送りこみ激しい流動状態を形成させます。投入された材料は流動化運動で分散し、瞬時に水分蒸発が起こり、さらに高温空気と接触することで燃焼されます。 その熱エネルギーを廃熱ボイラーで蒸気、温水に変換して利用します。 炉内には駆動部などなく、堅牢で故障がありません。  【代表的な形式・仕様】 1 台で処理材料:5ton/時程度まで対応できます。都度設計となり、大型にも対応できます。 【実績】 焼却炉としての実績:し尿汚泥施設で 40 箇所 バイオマスボイラー実績:3か所 【価格又はその問い合わせ先】下記参照
4. 技術の分類	
①用途分類	リサイクル、その他環境保護技術
②対象廃棄物	その他(コーヒー滓、木くずチップ、有機汚泥、鶏糞、畜糞)
③提供役務	プラント建設、機械・機器販売
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	中国、東南アジア
6. 検索キーワード	バイオマス、汚泥、リサイクル、CO2 削減、パーム椰子がら、熱回収
7. 問合先窓口・担当者	株式会社 大川原製作所 海外戦略部 海外課 榎戸、仲谷 03-5743-7461